

第3回 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会 (鶴巻温泉駅)

令和5年7月12日(水)

午後3時～ 弘法の里湯2階休憩室

秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会とは？

まちに関わる様々な人のまちに対する
思い、アイデアを共有し、形にする場

- ▶ 自分事として将来のまち(将来の暮らし等)を考える・共有する。
- ▶ やりたいこと、できそうなこと(アイデア)を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える。
- ▶ 懇話会を通じて、仲間づくりや街に関わることの楽しさ・達成感につなげていく。

懇話会でやろうとしていること

- ▶ 自分たちができる、「まちにいいこと」を考える
- ▶ 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうかを考える
 - ・実際にやってみる
 - 例えば…「空地でマルシェをやってみる」「道端にベンチを置く」
- ▶ 活動と議論を積み重ねる。



- ▶ 実際の体験などをもとに、自然体のまちの方向性づくりを行う。
- ▶ 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする。



まちの活性化・多くの人がまちのにぎわいづくりに参加したくなる

第2回目の成果

第2回 開催概要

- ▶ 日 時：令和5年2月10日(金)15時～16時半
- ▶ 会 場：弘法の里湯2階 休憩室
- ▶ 参加人数：9名
- ▶ ワークショップテーマ

鶴巻温泉周辺の特徴や魅力を見える化するマップづくり

これから鶴巻温泉駅周辺に住みたい人・お店を出したい人などにどこを紹介しますか？



次第及び懇話会で話し合われた内容

1 開会	小姿座長により開会
2 懇話会について	産業振興課から資料に沿って説明
3 ワークショップ 【鶴巻温泉周辺の特徴や魅力を見える化するマップづくり】	
(1)にぎわいに関するデータの紹介 鶴巻温泉駅周辺の“にぎわい”とは	産業振興課から資料に沿って説明
(2)ワークショップの進め方について	産業振興課から資料に沿って説明
(3)ワークショップ:グループA・Bに分かれて作業	
(4)全体発表:グループA・Bから発表	グループA:神奈川中央交通株式会社 水上氏、グループB:鶴巻地区自治会連合会 宮川氏からそれぞれ発表
4 次回の進め方	次回予定していたまち歩きについて、次回までに日々の生活の中で、参加者それぞれが意識してまち歩くようにしてはどうかとの提案に賛同する声が多く、まち歩きはしないものとした。 よって、今回は、第4回に予定していた今回のワークショップを踏まえ 課題の抽出及び解決方法、魅力の発信方法等について議論 を深めることを確認した。
5 閉会	小姿座長により閉会

ワークショップの記録：グループA

▷市全体の特徴・魅力に係る主な意見

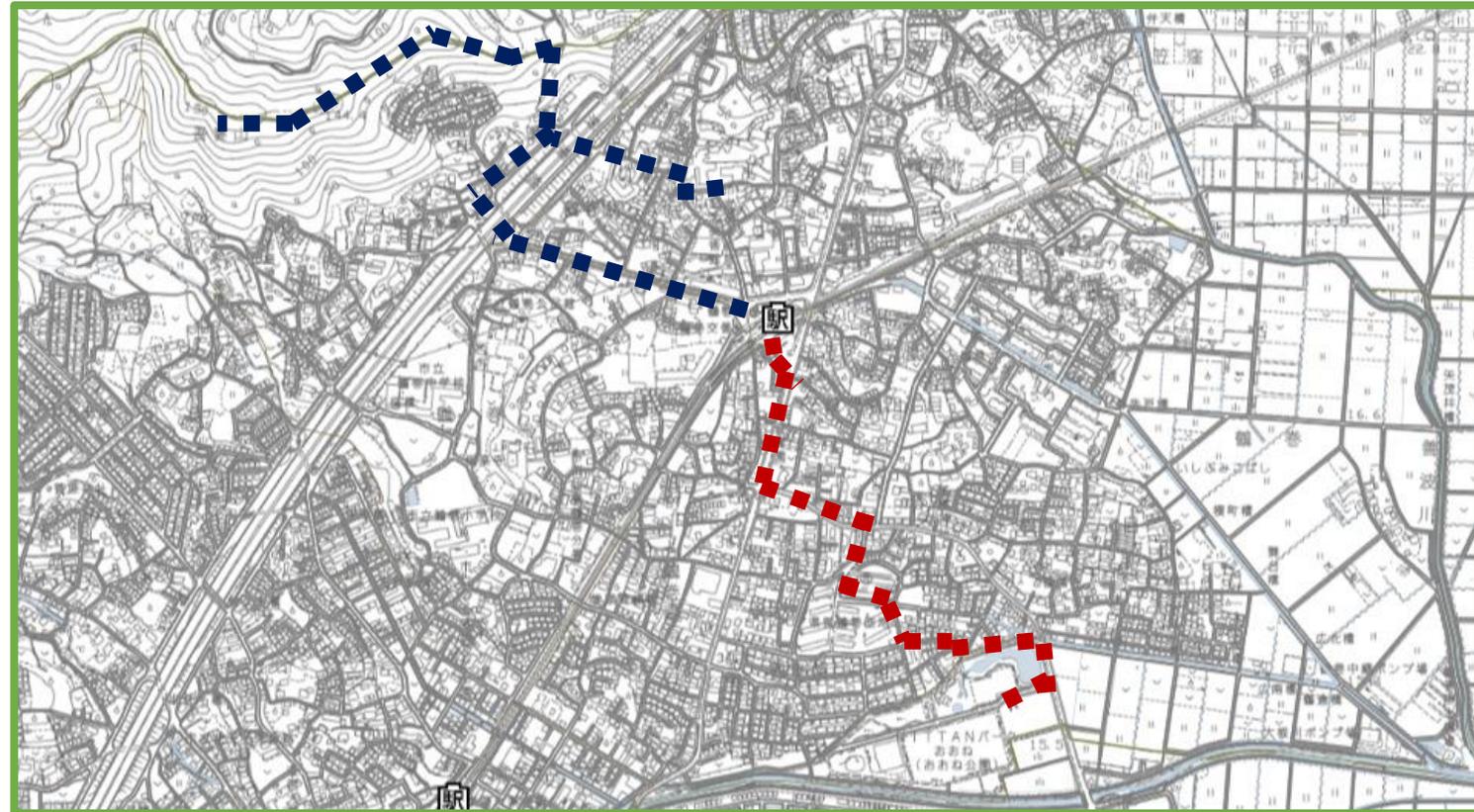
弘法山、表丹沢のハイキングから本格的な登山まで楽しめる・豊かな水・豊かな自然・大きな公園・桜の時期の水無川・温泉から公園(戸川・大根)まで一日色々遊ぶことができる。

▷駅周辺の特徴・魅力に係る主な意見

美しい水平線と日の出・小田急沿線で最もマンション価格が安い・老後住むまちに選ばれている・コンパクトなまち・温泉・緑が多い・温暖な気候・団地の上から平塚まで海がきれいに見える・中学生が良い子ばかり・メダカ・看板のない人気パン屋・モンベルショップに登録している市外ハイカーに人気の店がある

▷まちに足りないものに係る主な意見

弘法山ハイキングコースの入口案内・地域交流・飲食店や買い物施設・元芦屋商店街をゴールデン街やおもいで横丁のようになるといい・温泉の有効活用・名物・大型商業施設・ハイキングや温泉利用後にお酒を飲める店・のんびり自然を感じながら散歩できるコース・道が狭く危険な箇所(具体の場所あり:県道沿い)がある。



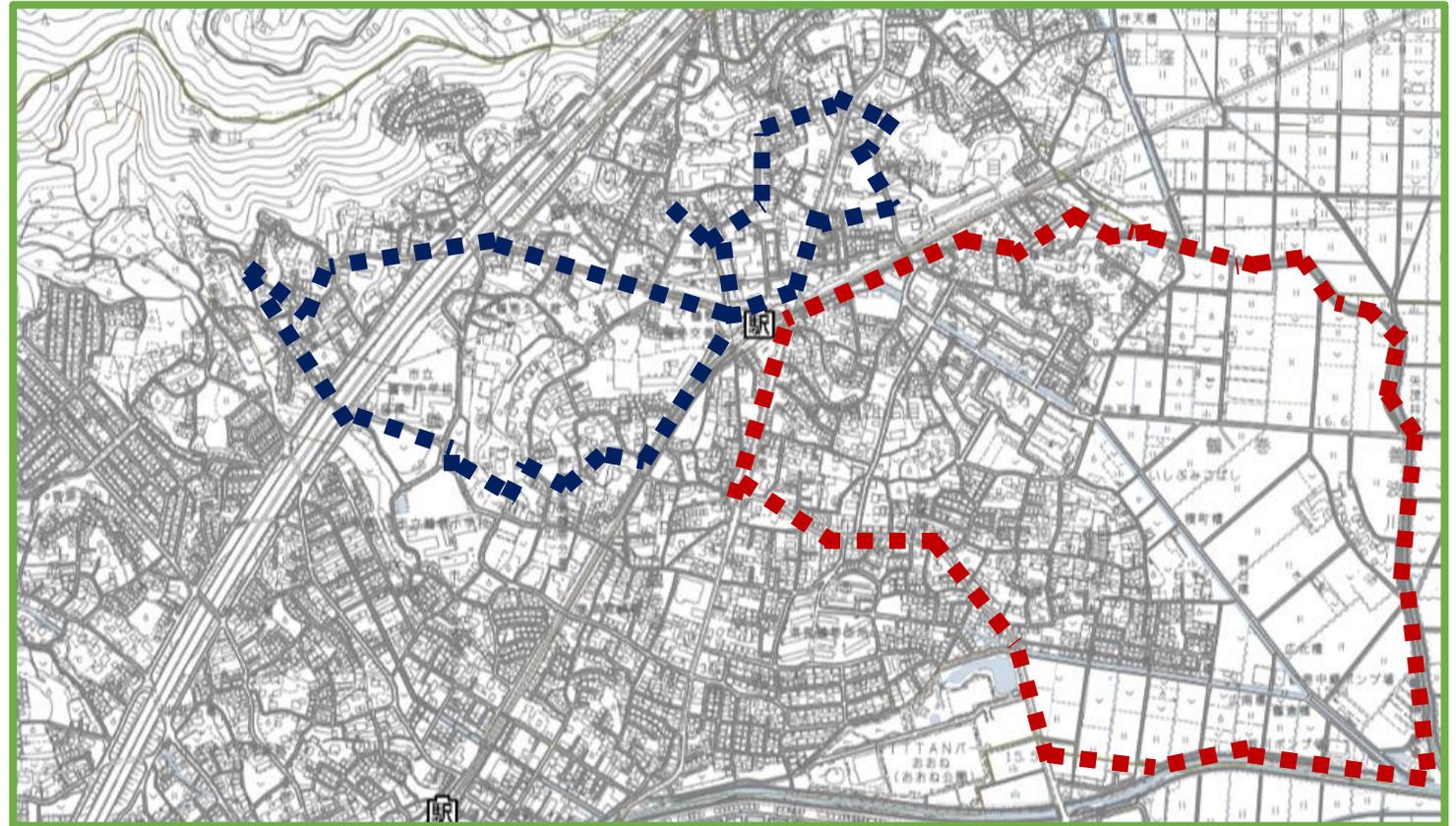
▷:ポテンシャル ▶:課題

ワークショップの記録：グループB

▷市全体の特徴・魅力に係る主な意見
桜・八重桜・震生湖・戸川公園・ボルタリング

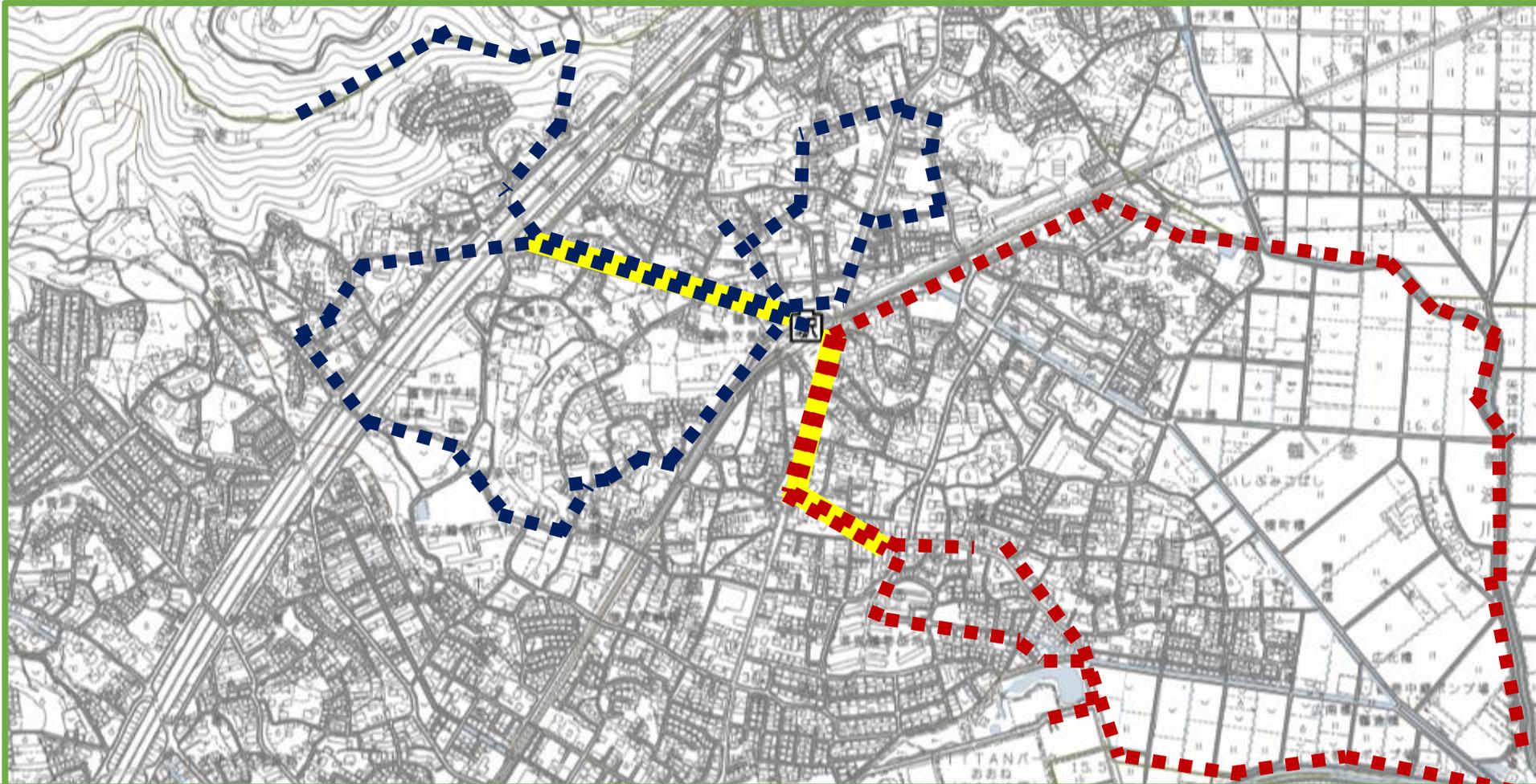
▷駅周辺の特徴・魅力に係る主な意見
高齢者向け施設が充実・気候が温暖・季節の花
(アジサイ、ユリ、酔芙蓉、桜)・温泉・旧跡や仏閣
が多い(西光寺、極楽寺、善昌寺)、ホテル、旧ポ
ンプ場からの富士山、おおね公園・極楽寺⇒延命
地蔵というストーリー性・コンパクトな生活しやす
いまち・大ケヤキ・ハイキングコース・モニュメン
ト・大きいものが多い(大ケヤキや延命地蔵)・医
療や高齢者福祉施設が充実・陣屋(飲泉)・千の
湯・毎週の朝市・閑静なまち・老後色々な人が幸
せに暮らしていけるまち

▶まちに足りないものに係る主な意見
コーヒー飲める街(通勤・通学者がコーヒーを買
える、里湯やおおね公園の売店でコーヒー豆販
売など)・体育館・飲食店や特産物が買える場所・
市外への情報発信・明確なセールスポイントの共
有・商店会会員の増・のんびりランチができる店・
旅館の廃館・若い人に向けたセールスポイント



▷:ポテンシャル ▶:課題

ワークショップの記録：共通ルート



黄線がグループAとBに共通したルート。人の往来が比較的生まれやすいルートと考えられる。

ワークショップのまとめ

ポテンシャル

- ・豊かで風光明媚な自然、住みよい環境、足をのばせば登山・ハイキング・桜・水などの資源。
- ・四季折々の自然、高齢者でも暮らし良い環境、朝市・桜・震生湖・公園などの資源。

課題

- ・資源のPRや整備、人を呼ぶ名物や名所、魅力的な店舗、地域の交流機会などが求められている。
- ・通勤・通学者向けの魅力的な店・物販、資源の効果的なPR、住民が集える店、若い人向けのセールスポイントなどが求められている。

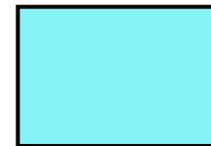
ワークショップ①

ワークショップ①

意識してまちを見たことで、再発見した魅力や特徴、課題を共有する。
 ソロワーク(5分)・グループワーク(10分)



まちの特徴や魅力



足りていないもの・こと

まちの特徴や魅力を伝えるために
 足りないもの・ことを考えることで、
 課題解決のキギは何かを共有します。



全体発表（1班5分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です。
全員が発言できるように、話は簡潔にまとめ、
他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

- ◎ 自主性(自発性)を存分に発揮しましょう。
- ◎ 参加者相互の立場を尊重しましょう。
(他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。)
- ◎ 目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。
- ◎ ワークショップを楽しみましょう。

他市事例紹介①

おやまちプロジェクト

多様な住民が主体的に参画する仕組みづくり（尾山台商店街（東京都世田谷区））



毎週水曜日、歩行者天国の時間帯には、ハッピーロード▲

おやまだいならでは、やってる自分が楽しくて、まなびがあって、ちがう人とつながれる。

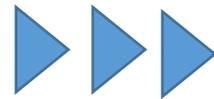
課題

- ・ 地域資源を活用した取り組み
- ・ 商店街の活性化に向けた方針の決定
- ・ 関係者の更なる巻き込み



実施内容

- ・ 大学との連携した取り組み
- ・ 商店街づくりの方針決定
- ・ おやまちプロジェクトの開始



取り組みの成果

- ・ 人と人の緩やかなつながりが新しいプロジェクトを生み、おやまちプロジェクトの設立から3年足らずで22のプロジェクトが始まっている。
- ・ 商店街内の空き店舗を借りてメンバーがやりたかったことを期間限定で実現。
- ・ 子どもたちが記者になってまちの魅力を伝える新聞を作成。
- ・ 歩行者天国タイムに人工芝を敷き、子どもたちや地域住民とけん玉や将棋などをしたりしている。

おやまちプロジェクトでは、個人のやりたいことを起点とし「課題解決よりも楽しさ」をモットーにすることで、新しい人が引き寄せられ、次の取組の種が芽生える環境を創出している。

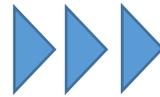
「30年後、このまちでどのように暮らしたいか？」など、自分の将来という動機付けからまちづくりを考えた。多様な方々からまちに対する想いが語られ、商店街の新たな役割や地域への愛着、問題意識が共有された。

他市事例紹介②

定期的・継続的なイベントの開催による商店街の活性化 (みやのかわ商店街/ 埼玉県秩父市)

課題

- ・夜型に移行する消費者の生活行動への対応
- ・商店街の活性化を担う後継者の育成
- ・高齢化など地域の社会課題への対応



実施内容

- ・ナイトバザールの実施
- ・「おまかせ主義」による人材育成。イベントは、やる気のある若手人材に一任、若手が成功経験を積み上げるとともに、挑戦の機会を与えることで、主体性のある後継者を育成。



取り組みの成果

- ・ナイトバザールの成功がきっかけで、全国からの視察依頼が増え、商店街との交流が生まれたことで商店街の知名度が向上し、来訪者が増えたことで、観光地の活性化など、地域経済の発展に寄与している。
- ・定期的・継続的にイベントを開催することで、まちに欠かさないイベントまで成長。(ナイトバザールは35年間で300回以上開催) 来街者を飽きさせないために毎回異なるテーマで実施。
- ・空き店舗ゼロを維持



▲みやのかわナイトバザールのチラシ

ナイトバザールでは、店を回るスタンプラリーや秩父屋台囃子や白浜太鼓の演奏などが行われる。また、ダンサーと演奏者130人が参加する大サンバパレードも開催されたこともある。(一例)

参考) 商店街における取組事例集
地域の持続可能な発展に向けた商店街づくりのノウハウ集: 別冊

他市事例紹介③

「進取の精神」を受け継ぎ、新しさが継続する「飽きのこない」商店街づくり (ハッピーロード大山商店街/東京都板橋区)

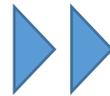
課題

- ・ 集客の核となる施設の整備
- ・ 商店街の認知度向上
- ・ 地域内で資金・エネルギーが循環する仕組みづくり



実施内容

- ・ 全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」の開設
- ・ 商店街のECサイトの開設・キャッシュレス化の推進
- ・ YouTubeを活用した情報発信



取り組みの成果

- ・ 「百貨店で開催されるような物産展を商店街でも」という発想から、「とれたて村」を開設。全国4市町村と提携し、各地の生産品を販売。
- ・ 「とれたて村」の商品を取り扱うECサイトを開設。ECサイトと商店街のポイントカードであるハローカードの会員管理システムを連動。
- ・ 2011年より、YouTube上で、商店街のイベントや魅力など、地域の情報を配信。

ハッピーロード大山商店街は伝統として、「進取の精神」を重視してきた。どこでもやっていないことにこそ、チャレンジする価値があるという文化が根付いている。若い世代のチャレンジを推奨し、組織の活性化につなげている。



▼空き店舗を改修したシェアスペース「かめやキッチン」



組合が運営するアンテナショップ「とれたて村」▲

他市事例紹介④

まちあそび人生ゲーム（島根県出雲市）

実施内容

家庭用ボードゲームの定番商品「人生ゲーム」の遊び方をリアルな商店街を舞台に展開し、地域活性化につなげる取り組み



方法とねらい

- ・ 商店街のお店をマスに見立て、ゲーム参加者はルーレットで出た目に従ってお店を巡る街歩きイベント。
- ・ 参加者は、ルーレットが生む「偶然の出会い」から、お店の方と「顔の見える関係」につながり、「街」「商店」の魅力を見直すことで、購買を促進する。
- ・ ゲームを制作する過程において、参加する店舗（マス）は、ゲームを演出するストーリーに「お店らしさ」を込めた内容を考える。その際、各店舗が、自店を振り返り「強み」や「特徴」を再認識し、現在の営業を見直すきっかけとすることもねらい。



「街と人」、「店と人」、「人と人」の新しい出会い・ふれあい・縁を創造する仕掛けをすることが、このイベントの最大の目的。

出雲市で始まったこのイベントは、福井県小浜市、北海道岩見沢市、愛知県名古屋市など全国で実施されている。

参考)NPO法人出雲まちあそび研究所 <https://www.machiasobi.jp/game.html>

他市事例紹介⑤

大学生がジビエのまちPRにひと役 (千葉県 館山市)

実施内容

イノシシ肉を使って館山総合高校生徒が考案した、おやき「BOUSOUおやちょ」を広め、「ジビエのまち館山を盛り上げたい」と、大学生らがチラシを作成し、館山駅周辺の飲食店に配布するPR作戦を展開した。

「館山の食のまちづくりに貢献せよ」といった地方創生の課題に取り組む中で、おやちょの存在を知り、もっとPRすることでジビエのまち館山の活性化につなげたいと企画した。

チラシは500部を作成。おやちょ考案のコンセプトを説明することで、より魅力が伝わるのではと、商品の紹介だけでなく、駆除されたイノシシの有効活用や被害に悩む農家の助けになりたいという高校生の思いも入れ込んだ。



BOUSOUおやちょは、館山産イノシシ肉と地元の野菜をチーズとともに米粉の皮で包んだ同校家政科生徒ら考案のおやきで、おやきと野猪（やちょ）をかけてネーミングした。館山ジビエセンターの製造で、同市北条の「リビングエニウェア commons 館山」で350円（税込み）で販売されている。※2021年時点

ワークショップ②

ワークショップ②

にぎわい創造のために「やりたいこと・アイデア」を考える

- ▶ 鶴巻温泉駅周辺の特徴・魅力を生かし、足りないものを解決するために「やりたいこと」「やらなきゃいけないこと」のアイデアを考える
- ▶ 「アイデア」を続けていくこと、まちはどう変わっていくのかを考える
- ▶ 10年後・20年後の鶴巻地区でどのように暮らしたいか、創造して考える

ソロワーク (15分)

第2回目と今回のワークショップで出された、鶴巻温泉駅周辺および秦野の特徴・魅力を強めるために、足りないもの・ことを解決するためにやりたいことのアイデアを考える。

やりたいことのアイデアを考える

考え方のヒント

まちの特徴や魅力	×	足りていないもの・こと	➔	新たなアイデア
足りていないもの・こと	×	新たなアイデア	➔	まちの特徴や魅力
まちの特徴や魅力	×	まちの特徴や魅力	➔	新たなアイデア

グループワーク(15分)

ソロワークで考えた「やりたいことのアイディア」をグループ内で共有し、新たに気づいたアイディアなど自由な意見交換の時間とします。

全体発表（1班5分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

次回以降の懇話会で考えていくこと

今回出されたアイデアを実現していくために、
「誰が」「どこで」「どんなことをやる」のかなど具体的に考えていく。

次回の懇話会の日程

- 候補① 8月30日(水) 15:00~
- 候補② 9月 6日(水) 15:00~